



山口佳茂展

—40年間の制作を見つめる—
場の空気を摂取した作品 ヨーロッパと日本

Yoshishige Yamaguchi art exhibition 2022・8/6(土)～21(日) 10:00～16:00 ※月・火曜日休廊



窓(赤) 1985年制作

会場： gallery アートエコー <ことなみ未来館2階 香川県仲多度郡まんのう町中通 838>

ことなみ未来会議文化活動部会は、2022年度より「ことなみ未来館」2階に開設されました。ギャラリーアートエコーで優れた芸術活動を続けるアーティストを紹介する企画展を行っています。この度「山口佳茂-40年間の制作を見つめる-」を開催します。山口氏は、多摩美術大学を卒業後、スロベニア共和国リュブリャナ芸術大学大学院に留学、修了後帰国し国内外で発表を続け、2008年には香川県美術展で知事賞を受賞するなど高い評価を受けています。作品のテーマは「存在」や「リアル」について考えを巡らしたもので近年の作品は、氏が描いた仮想空間がまるで実際にキャンパスに存在するかのようリアルさで迫り、鑑賞者に驚きと感動をもたらします。この機会に是非ご覧ください。

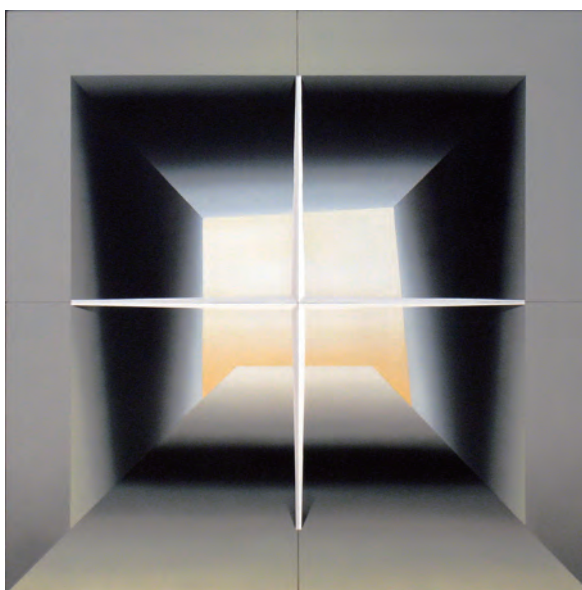


山口 佳茂
Yoshishige Yamaguchi

40年間の作品制作を振り返る第一弾、ヨーロッパの地で制作した作品（85年作、86年作、95年作）と現在の作品を同時に展示しています。制作場所によって生み出される作品の質の違いや作者の意識の変化が見て取れます。これまでの作品のテーマには、「間」「窓」「空」「カオス」「境界」「表裏」「光」をタイトルに使いながら「存在」や「リアル」について考えを巡らせて来ました。平面上に空間表現を試みる中で、37年前や27年前の作品と現在の作品を比較し、場所の記憶や未来への予感を模索することで、新たな創造が生み出されることを期待しています。

プロフィール

- 1961 香川県綾歌郡宇多津町生まれ
- 1984 多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
- 1988 第11回リカ国際ドローイングビエンナーレ出品（クロアチア）
- 1989 第18回リュブリャナ国際版画ビエンナーレ出品（スロベニア）
- 1995 日本からの創造者たち展 国際版画現代センター（スロベニア）
- 2006 香川県美術展以降出品（香川県文化会館）
- 2008 香川県美術展 洋画部門県知事賞受賞（香川県立ミュージアム）
- 2010 アートトレッキング SOGISYO <綾川町>
- 2013-20 かがわ・山なみ芸術祭 <綾川町・高松市・まんのう町>
- 2013 個展（高松天満屋）
- 2019 香川県美術展 招待出品
- 2022 「山口佳茂展-40年間の制作を見つめる-」<まんのう町>



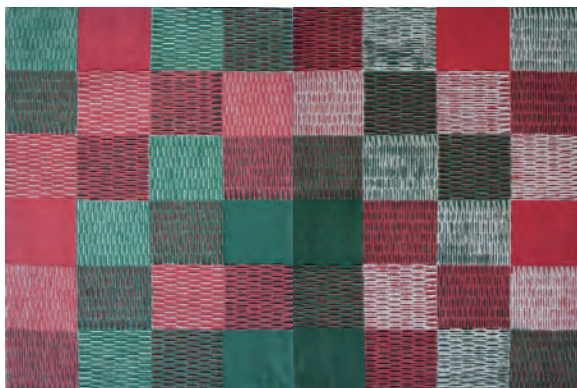
光で満ちる 2020 94 × 94 cm 2020年作



カオスからコスモスへ I
170 × 80 cm 1995年作



窓(緑)
140 × 91 cm 1985年作



表裏一体 編む2 140 × 198 cm 1986年作



ことなみ未来館 〒766-0202 仲多度郡まんのう町中通 838

場の空気を撮取した作品 ヨーロッパと日本
山口佳茂展 -40年間の制作を見つめる-
Yoshishige Yamaguchi art exhibition

2022・8/6 (土)～21 (日) 10:00～16:00 ※月・火曜日休廊
会場：gallery アートエコー <ことなみ未来館2階>

主催：コことなみ未来会議文化活動部会
連絡先：080-6288-3819 email:kotonamibunka@gmail.com

ことなみサマーフェスティバル 2022・8/13 (土) 納涼花火大会、ステージ等